

異文化間で平和考える



ドイツの移民問題について意見を交わす高校生たち＝8日、那覇市の沖縄尚学高校

子供平和会議 沖尚高で開催

「グローバルシテ
イズン」地球の一員であること
をテーマに高校生約60人が意見を
交わした。理解を深め合い、平和
づくりについて考えるのが目的。



第1回子供平和会議
(対馬丸記念会主催)が
8日、那覇市の沖縄尚
学高校で開かれ、

トルコからの移民問題で揺れるド
イツを取り上げ、異なる文化間で、
どう平和を実現するかを考えたと。
ドイツ国民の立場で意見を述べた
生徒は「移民に対し最低限の権利は
認めたと上で、納税額に応じて別の権
利も認める」、移民の立場からは
「経済状況にかかわらず、働く機
会は平等にするべき」などの意見
が出た。中には「移民にお金を払
い、国の外に出て行ってもらう」と
の考えもあった。宮古高1年の
比嘉芹良さん(16)は「平和への意識
を高めていきたいと思う」と話した。